

## ガバナーメッセージ

### ロータリアンのアイデアがロータリーの未来を作る

国際ロータリー第2750地区 2010-11年度 ガバナー 辰野 克彦



7月1日より、世界200以上の国または地域に広がる33,000有余のロータリークラブがレイ・クリンギンスミス国際ロータリー会長のもとと新年度を迎えます。

私は、国際ロータリー第2750地区のガバナーとして、地区内のクラブそしてロータリアンの皆様に国際ロータリー新会長の方針を伝え、そして皆様のお考えを国際ロータリーに伝えるという重責を担うことになりました。

新会長レイ・クリンギンスミス氏は、ロータリアンでない人にもロータリーは何をする団体かが判るテーマにしようと“Building Communities Bridging Continents”「地域を育み 大陸をつなぐ」とされました。このテーマはロータリーの4大奉仕でありますクラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕を表わしたものとされました。「地域を育み 大陸をつなぐ」は社会奉仕であり国際奉仕であることはすぐ判りますが、どうしてクラブ奉仕と職業奉仕も含まれるのか判らないと思われる方もいらっしゃるでしょう。私も最初はそう思いました。クリンギンスミス会長は「クラブ奉仕も職業奉仕も人生を謳歌し、善き市民になることである」といわれ、少し判ったように思いましたが、私なりにもう少し考えてみますと、クラブ奉仕は新しい人との出会い等、人生の謳歌 Enjoy Lifeであります。職業奉仕すなわち善き職業人であることは即ち善き市民になることでもあります。人生を謳歌し、善き市民になることは地域を育むことであると考えていきますとクラブ奉仕も職業奉仕も地域を育むことに繋がると私も納得した次第であります。

この素晴らしいRIテーマのもと、どのようにロータリーの4大奉仕に取り組むか、私は、ロータリアン、クラブ、地区がアイデアを出し合い、出来る限りより効率的な奉仕に向かうべきと考えます。

クリンギンスミス会長は「ロータリーは 親睦と奉仕の会を始めようとポール・ハリス一人のアイデアから始まりました。その後、四大奉仕部門、標準ロータリークラブ定款、四つのテスト、地区ガバナーの役職などロータリーを伸ばしてきた制度・スキームもそれぞれが最初は一人のロータリアンのアイデアから始まりました。そこに多くのロータリアンの参同が寄せられ、シンプルなアイデアがロータリー発展の魔法を生み出しました。」と言われ、これからも新しいアイデアが出てくることを大変期待されておられます。クリンギンスミス氏自身も、「RI理事会も前進する用意が来ています、私も新しいアイデアを数多く提案しています。全て成功するかどうか判らないが、やってみる価値はあります。」と変革に大変積極的であります。

また、今年4月末の規定審議会で立法案の審議と採択が行われ、この7月より実施されます。規定審議会は、国際ロータリー唯一の立法機関であります。世界531の地区から地区代表議員がシカゴに集まり審議いたします。今回は219の立法案が提出され、47の制定案と19の決議案が採択されました。4大奉仕に新世代奉仕が加わったこと、地区にE-clubが二つまで認められること、小学生対象のアーリークラブ提唱されることなどが主なものであります。これら規定審議会での規則一部変更からくる変化と国際ロータリー会長が示される変化が重なり、2010-11年度は大変動の1年になりそうであります。

クラブからRIに対し提案ができる機会である規定審議会は、次は3年後に行われます。ロータリーの発展のための提案は、積極的であってよいと思います。今までこうだったからというのではなく、各自の職業に忙しい中ですが、自分が社会で生きてきた経験から、こうした方がよいというお考えがあればクラブを通して、ご提案いただくことを期待いたしております。

INDEX ※ **3**～**16** は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

- |                                  |                                 |  |
|----------------------------------|---------------------------------|--|
| <b>1</b> ガバナーメッセージ               | <b>7</b> 京浜グループ/山の手東グループ 活動通信   | <b>13</b> クラブ紹介(南RC/芝RC/銀座RC/日本橋RC)    |
| <b>2</b> ガバナープロフィール/地区重点目標       | <b>8</b> 山の手西グループ/多摩南グループ 活動通信  | <b>14</b> クラブ紹介(羽田RC/大森RC/西RC/城西RC)    |
| <b>3</b> 地区研修委員会「2010-11年度に向けて」  | <b>9</b> 多摩中グループ/多摩東グループ 活動通信   | <b>15</b> クラブ紹介(世田谷RC/目黒RC/八王子RC/町田RC) |
| <b>4</b> 地区幹事「2010-11年度に向けて」     | <b>10</b> PBG 活動通信/広報委員会 活動通信   | <b>16</b> クラブ紹介(立川RC/小金井RC/府中RC/調布RC)  |
| <b>5</b> 地区行事日程                  | <b>11</b> 会員委員会/奉仕プログラム委員会 活動通信 | <b>17</b> 寄付報告/文庫通信/物故                 |
| <b>6</b> 千代田グループ/銀座・日本橋グループ 活動通信 | <b>12</b> R財団委員会/米山記念奨学委員会 活動通信 | <b>18</b> 出席報告/編集後記                    |

2010-11年度 第2750地区 ガバナー 辰野 克彦 プロフィール

- ▶ 学 歴 1964年 3月 東京大学法学部卒業
- ▶ 職 歴 1964年 4月 辰野株式会社 入社
- 1991年 12月 辰野株式会社  
代表取締役社長に就任  
現在に至る



▶ ローターリー歴

- 1982年 11月 東京西ロータリー・クラブ入会
- 1991-1992年 国際ロータリー第2750地区 副幹事
- 1995-1996年 東京西ロータリー・クラブ 副会長
- 1999-2000年 同プログラム委員長
- 2001-2002年 同クラブ会長
- 2003-2005年 同創立50周年特別委員長
- 2006-2007年 国際ロータリー第2750地区  
山の手東グループ ガバナー補佐
- ポール・ハリス・フェロー(マルチプル)、ベネファクター、  
米山功労者(マルチプル)

地区重点目標

I. RIテーマとRI会長強調事項の推進

◇ RIテーマ：「地域を育み、大陸をつなぐ」  
Building Communities Bridging Continents

◇ RI会長強調事項：

- ① ポリオ撲滅
- ② 青少年プログラム
- ③ 人道的プログラム
  - ・ 平和と紛争予防／紛争解決
  - ・ 疾病予防と治療
  - ・ 水と衛生設備
  - ・ 母子の健康
  - ・ 基本的教育と識字率の向上
  - ・ 経済と地域社会の発展

II. 地区運営基本方針と地区強調事項

◇ 地区運営方針：

- ① クラブ中心、地区はクラブの支援
- ② 地区組織の簡素化

◇ 地区強調事項：

- ① クラブにおける長期計画の立案と推進
- ② 「クラブ合同奉仕プロジェクト」の支援

III. 会員基盤の強化

- ◇ 会員維持増強  
各クラブ1名以上の純増
- ◇ クラブ拡大  
地区として1クラブ以上の拡大

IV. ローターリー財団への支援

- ◇ 年次寄付  
1人 100ドル以上
- ◇ ポリオ・プラス指定寄付  
1クラブ 1,000ドル以上
- ◇ ベネファクター  
(恒久基金への寄付が1,000ドルに達する者)  
会員100名以上のクラブ 2名以上  
会員 99名以下のクラブ 1名以上
- ◇ 大口寄付者  
(ロータリー財団への寄付累計が10,000ドルに達する者)  
地区で5名以上

V. (財)ロータリー米山記念奨学会への支援

地区として、特別寄付と普通寄付を併せて8,000万円以上

## 2010-11年度に向けて

地区研修委員会 研修リーダー 谷島 昶 (東京羽田RC)

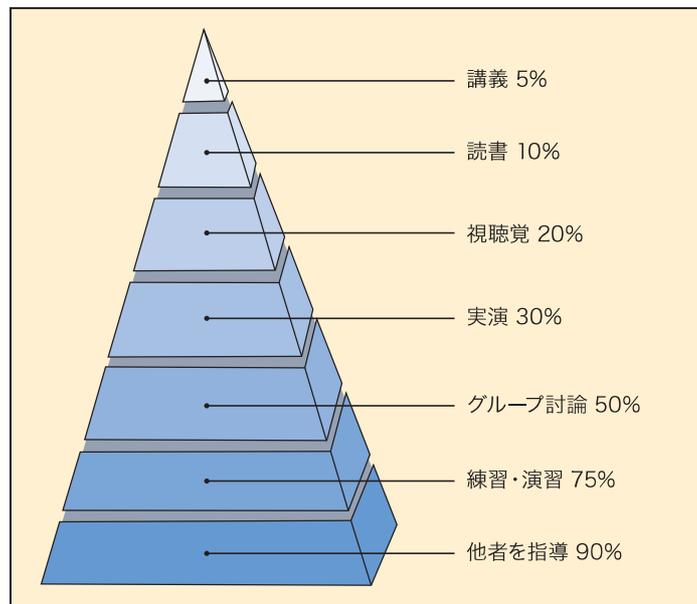


当地区の2010-11年度・研修委員会は、委員長・研修リーダー：谷島 昶(東京羽田RC)、副委員長・研修リーダー補佐：鬼島弘明(東京西RC)、委員：松田美房(東京羽田RC)の計3名で構成しました。これに、研修担当地区幹事：服部陽子(東京広尾RC)が加わり、活動しています。

すでに、地区チームセミナー(2月)、PETS(3月)、地区協議会(5月)、PBGのPETS・地区協議会(4月)、それに地区ロータリー財団セミナー(6月)を終了させて、この7月に新年度を迎えました。

ところで日本全国34地区の地区研修リーダー 34名は、昨年秋都内某ホテルに集められ、RI関係者による丸一日の研修を受講しました。この研修の中で特に注目されたのは、「学んだことを記憶するには」と言う件でした。

セミナーの中で「学習のピラミッド\*」が示され、学んだことを他に教えることが、最もよく記憶する方法と紹介されました。



図：学習のピラミッド

\* NTL Institute of Applied Behavioral Science

実は、この方法は2006-07年度の当地区研修リーダー加来浩二氏によって、リーダーシップ育成セミナーにすでに適用されていて、実績のある方法なので、辰野年度ではガバナーの同意も得てこの方法をリーダーシップ育成セミナーに採用することにしました。

実施方法は、まず研修リーダーがガバナー補佐を集めて、決められた研修テーマについて6月中に研修を行い、次いで受講したガバナー補佐が7月～10月の間にグループ毎にクラブ研修リーダーに対して研修を実施、次いで受講したクラブ研修リーダーは、クラブ内の研修対象者に10月～12月の間に研修を実施するというシーケンスです。

今回の研修でとり上げた中心テーマは、PETS、地区協議会でやっている委員会ごとの各論ではなく、「ロータリーの歴史」としました。近年ロータリーでは長期計画、未来計画など未来志向が強く打出されていますので、「未来を見通す鍵は、歴史の中にある」と言う教えにしたがい研修テーマを決めました。

研修資料の作成にあたっては南園義一元RI理事から頂いた資料「ロータリー奉仕活動の歴史を踏まえて!」を使用させて頂きました。ここに感謝の意を表すものであります。

## 地区はクラブの支援組織

地区幹事 [統括・地区大会] 小島 篤 (東京西RC)



2010-10年度の地区幹事を務めさせていただきます、小島 篤と申します。

辰野ガバナーのホームクラブである東京西ロータリークラブは、160名近いメンバーを擁し、ロータリーに詳しいメンバーが多数いるなか、何故か小生が、クラブとしては19年振りに輩出されたガバナー、辰野さんのお手伝いを命ぜられました。

今まで地区での活動がほとんどない小生は、常に地区活動をクラブ側から見てきました。然し、初めて地区の内側で活動してみて、歴代のガバナーをはじめ地区役員のお苦勞を肌で感じたということが本音です。

辰野ガバナーは常々「ロータリーはクラブが中心であり、地区はクラブの活動を支援する組織である」と言っています。私もガバナーの意を呈し、地区活動を通じてクラブの運営をお手伝いさせていただきたいと思っております。

ロータリーについて勉強不足の小生でも、社会情勢等により曲がり角にきていると感ずるロータリーですが、91クラブのためになるか否かを考えながら働く所存です。どうぞ一年間よろしく願いいたします。

## 2010-11年度に向けて

地区幹事 [総務・広報・IT] 鈴木 隆志 (東京西RC)



クラブ会長並びに会員の皆様、新年度を心からお慶び申し上げます。ご準備を進められ、素晴らしい例会をお迎えのことと思います。

私自身、新藤年度、久邇年度、2年間にわたり地区副幹事を経験させていただきました、地区の現状及び業務について勉強をさせていただきました。今回は「地区幹事」として、さらなる重席に緊張をしております。しかしながら、ホップ・ステップ・ジャンプの飛躍と年として、これまでの経験を生かして、さらに効率的な運営、業務の改善を進めたいと思っております。

本年度、辰野ガバナーは「地区はクラブの支援」と言う考えの基、地区の改革、質の向上をさらに推し進めるお考えです。新しいアイデア、ご相談、お願いもあると思っております。私は、総務担当として、地区の活動や考えが、クラブにお役に立てますよう、クラブを支援する「地区幹事」の役目を一生懸命努力遂行する所存です。

1年間、ご指導ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます。

## 2010-11年度に向けて

地区幹事 [研修・R財団・米山・PBG・国際大会] 服部 陽子 (東京広尾RC)



新藤ガバナー年度、久邇ガバナー年度は、R財団の補助金委員長としてクラブの皆様の奉仕プロジェクトのお手伝いをさせていただいて参りましたが、辰野ガバナー年度は地区幹事を仰せつかりました。辰野年度には統括の小島幹事を筆頭に3名の地区幹事があり、それぞれ役割分担があります。

私は、研修、R財団委員会、米山記念奨学委員会、PBG、国際大会推進委員会と、たくさん担当をいただいておりますが、他の3名の幹事との協力で、辰野年度がクラブ支援をするよいお手伝いができるよう努めたいと思っております。又、次年度ガバナー直轄の地区強調事項である『「クラブ合同奉仕プロジェクト」支援』の担当幹事も仰せつかりしておりますが、プロジェクトを推進なさるクラブの皆様を主役に、地区幹事は裏方の支援に徹しております。

地区幹事として、ガバナーのご意向に沿って仕事をさせていただきますと同時に、クラブの皆様からのご意見、ご要望などを直に伺いながら進めて参れたらと思っております。お気づきの点等お知らせいただければ有り難く思います。

## Ich bin ein Berliner.

地区幹事 [奉仕プログラム・会員] 松本 啓祐 (東京八王子RC)



東京広尾ロータリークラブの服部陽子氏(地区幹事)が劇に出る、しかも科白がある役というので、六本木の俳優座劇場に観にいった。演目はシェークスピアの「ペリクリーズ」、服部氏の熱演に脱帽する。プレヒトの影響があるのだろうか、戦時中の日本を想起させるような舞台はクロス風の語りと相俟って「異化効果」を意識した演出のように感じた。

ロータリーでも、最近は異化的アプローチに出会うことが少なくない。シェークスピア劇と同様、新しい衣装を纏おうとしているかのようだ。

ロータリーの転換期に、辰野ガバナーより、会員・奉仕担当の地区幹事を拝命した。\*「Ich bin ein Berliner.」の響みに倣い「I am a Rotarian.」と言いうる日のために、「クラブ中心」のコンセプトに基づき、新藤会員委員長・熊野奉仕委員長のサポートの任にあたりたい。

\*私は(自由な人間として)ベルリン市民です。

—— ケネディ大統領の冷戦下ベルリンでの演説

2010-11年度 地区行事日程 (7-8-9月)

7月 1日 (木)	2010-11年度 第1回 ガバナー会会議	グランドプリンスホテル高輪
7月 1日 (木) 11:45 ~ 15:00	2010-11年度 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪 B1「プリンス・ルーム」
7月 1日 (木)	2010-11年度 R財団ゾーンチーム会議	グランドプリンスホテル高輪
7月 2日 (金) 9:00 ~ 16:00	2010-11年度 RI財団地域セミナー	グランドプリンスホテル新高輪 B1 プリンスルーム
7月 2日 (金)	2010-11年度 拡大運営会議	ガバナー事務所 (or 7月1日)
7月 2日 (金) 17:30 ~ 18:00	2010-11年度 ガバナー事務所開き	ガバナー事務所
7月 2日 (金) 18:30 ~ 20:45	2010-11年度 辰野年度発足の会(懇親会)	ザ・プリンス・パークタワー東京
7月 3日 (土) 13:30 ~ 16:00	2010-11年度 青少年交換来日生ホストクラブ・ホストファミリー会議	国立オリンピック記念青少年総合センター
7月 4日 (日) 9:15 ~ 10:30	2010-11年度 地区青少年交換新委員長のためのオリエンテーション	グランドプリンスホテル高輪 B1「アメジスト」
7月 4日 (日) 11:00 ~ 15:45	2010-11年度 第1回 全国青少年交換委員長会議	グランドプリンスホテル高輪 B1「ロイヤルルーム」
7月 5日 (月) 16:00 ~ 17:00	平和フェロー第9期カウンセラーオリエンテーション	ICU
7月 6日 (火) 16:00 ~ 17:30	2010-11年度 第一回 クラブ米山奨学委員長セミナー	京王プラザホテル
7月 8日 (木) 15:00 ~ 17:00	2010-11年度 地区拡大役員会(含むグループ幹事/全委員長)	ガバナー事務所
7月 8日 (木) 17:00 ~ 18:00	2010-11年度 拡大運営会議	AP浜松町
7月 9日 (金) 15:00 ~ 17:30	山の手グループ・クラブ会員増強委員長会議	ガバナー事務所
7月 12日 (月) 12:00 ~ 15:00	辰野年度諮問委員会	ガバナー事務所
7月 13日 (火) 15:00 ~	会員開発委員会 (千代田グループ)	ガバナー事務所
7月 16日 (金) 15:30 ~ 20:30	第1回 クラブ会長・幹事会 (懇親会)	ホテルオークラ東京 懇親会18:30~
7月 22日 (木) 18:30 ~ 21:00	派遣国際親善奨学生候補生及び受入国際親善奨学生向けオリエンテーション	如水会館
7月 26日 (月) 18:30 ~ 21:00	2010-11年度 山の手西Gu インターシティミーティング	ハイアットリージェンシー東京 地下1階「桃山」 懇親会18:10~
7月 30日 (金) 11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京西	ホテルオークラ東京
7月 31日 (土) 10:00 ~ 16:00	2010-11年度 第30回 インターアクト地区年次大会	青少年オリンピックセンター 国際交流棟
8月 2日 (月) 11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京六本木	グランドハイアット東京
8月 3日 (火) 9:20 ~ 13:30	公式訪問 東京大井、東京京浜、東京高輪	グランドプリンスホテル高輪「桜花」
8月 3日 (火) 15:00 ~ 17:00	2010-11年度 運営会議	ガバナー事務所
8月 4日 (水) 15:30 ~ 17:30	2010-11年度 山の手東グループ協議会	ガバナー事務所
8月 5日 (木) 9:20 ~ 13:30	公式訪問 東京品川・東京港南・東京マリーナ	グランドプリンスホテル高輪「桜花」
8月 9日 (月) 15:00 ~ 17:00	2010-11年度 地区役員会	ガバナー事務所
8月 18日 (水) 11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京多摩グリーン	京王プラザホテル多摩「たまつばき」
8月 19日 (木) 11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京山の手	八重洲富士屋ホテル
8月 20日 (金) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京府中、東京武蔵府中	大國魂神社 結婚式場
8月 23日 (月) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京蒲田、東京田園調布緑	プラザ・アヘア「鳳凰」
8月 25日 (水) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京田園調布、東京品川中央	大森東急イン5階
8月 26日 (木) 11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京稲城	よみうりグリーンクラブ
8月 31日 (火) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京新橋・東京レインボー	第一ホテル東京
9月 1日 (水) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京町田東・東京町田中	町田エルシィ
9月 2日 (木) 11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京南	東京會館
9月 3日 (金) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京大崎・東京白金	グランドプリンス高輪
9月 3日 (金) 15:00 ~ 17:00	2010-11年度 拡大運営会議	ガバナー事務所
9月 5日 (日) 15:00 ~ 19:00	2010-11年度 青少年交換委員会「帰国報告会」	国立オリンピック記念青少年総合センター
9月 6日 (月) 11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京渋谷	セルリアンタワー東急
9月 7日 (火) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京恵比寿、東京神宮	ウェスティンホテル東京
9月 8日 (水) 15:00 ~ 19:30	公式訪問 東京城西、東京西南、東京杉並	ホテルニューオータニ(夜間例会)
9月 8日 (水) ~	2011-12年度 ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS)	グランドプリンスホテル新高輪
9月 9日 (木)	2011-12年度 ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS)	グランドプリンスホテル新高輪
9月 10日 (金)	2011-12年度 地区研修リーダーのためのセミナー (DTLS)	グランドプリンスホテル高輪
9月 9日 (木) 11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京広尾	六本木ヒルズ森タワー
9月 13日 (月) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京三鷹、東京井の頭	
9月 14日 (火) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京芝、東京みなと	東京プリンスホテル
9月 15日 (水) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京羽田、東京大森	羽田空港ビックバード6階「ギャラクシーホール」
9月 16日 (木) 17:50 ~ 20:00	公式訪問 東京自由が丘	自由ヶ丘学園
9月 18日 (土)	RYLAセミナー	府中の森
9月 19日 (日)	RYLAセミナー	府中の森
9月 20日 (月)	RYLAセミナー	府中の森
9月 21日 (火) 11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京原宿	グランドプリンスホテル赤坂
9月 22日 (水) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京国立、東京国立白うめ	
9月 24日 (金) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京立川、東京立川こぶし	立川グランドホテル
9月 27日 (月) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京調布、東京調布むらさき	調布クレストンホテル
9月 27日 (月)	会員増強セミナー	立川グランドホテル
9月 28日 (火) 16:30 ~ 20:00	公式訪問 東京多摩(16:30~17:20懇談/17:30~18:20クラブ協議会/18:30~20:00例会と懇親)	オークラレストラン多摩
9月 29日 (水) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京小金井さくら、東京小金井	
9月 29日 (水) 15:00 ~ 17:00	2010-11年度 運営会議	ガバナー事務所
9月 30日 (木) 10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京城城、東京城城新	ハイアット・リージェンシー東京

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。 ★青文字は片倉年度の行事予定です。

## 千代田グループ 活動通信

## 2010—11年度に向けて

千代田グループ ガバナー補佐 金澤 洋 (東京新橋RC)



辰野ガバナー・エレクトから親書をいただき、初めてガバナー事務所に集合がかかったのは今年の7月中旬でした。あれから早くも11カ月、その間5回にわたるガバナー補佐研修会、5月の地区協議会に至る三大研修などを経て、着実に勉強をさせていただき、辰野ガバナーエレクトの方針を十分に理解し、また辰野様のすばらしいお人柄にも接してきました。新年度を目前にして、いよいよという緊張感を覚えますが、同時に十分な助走のおかげで、さあ走るぞという勇気のようなものを感じています。

辰野ガバナーの方針の第一は「クラブ中心」ということではありますが、辰野ガバナーと各クラブをつなぐのが私たちガバナー補佐の役割の最たるもの。グループ協議会、クラブ訪問などを通して、ガバナーの考え方を逐一クラブに伝えるとともに、クラブの会員の皆さまと十分な意思疎通、情報共有を図り、ご期待に応えたいと思います。

辰野年度の地区研修リーダーは谷島パスト・ガバナーが務められていますが、次年度の研修のキーワードは「歴史」、その趣旨は「未来を見通す鍵は、歴史の中にある」ということでもあります。その参考文献として谷島リーダーが特に薦められたのが、ハロルド・トーマス著「ロータリー・モザイク」という本で、その短い緒言から引き込まれました。緒言の中でポール・ハリスは「ロータリーは一人の人間の靈感によって生まれたものでもなければ、何人かの人達の靈感によってできたものでもない。ロータリアンすべての参加によってはじめてできたものである。」と述べています。すなわちロータリーは、これまで、数知れぬ多くのロータリアンが、ロータリーのモザイクを組み立ててきた結果であるということです。そして、すべてのロータリアンは、永遠に続くロータリー・モザイクの造成に、みんな一役も二役も買っていると。

辰野年度も、第2750地区のロータリアン一人ひとりが、新しいモザイクを、それぞれに貼り付けていくわけですが、来年6月までに、どんなモザイクを貼り付けることができるのかの、誠に楽しみで、ワクワクしてきます。こんな気持ちが、今感じている勇気のようなものの源かもしれません。

## 銀座・日本橋グループ 活動通信

## 2010—11年度に向けて

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 岩瀬 敬一郎 (東京銀座RC)



現在世界的にロータリアンは減少傾向にある、特に日本のロータリアン数は著しい。その中で新たに第2750地区では「会員委員会」が常設委員会として設けられている。これを組織図で見れば全体との関係も良く判る。又ガバナーのスタッフ組織と陣容共にしっかりしている。これからは全員 辰野克彦ガバナーのもと一つ一つのプロジェクトを推進することである。ロータリー活動の原点は「クラブに有る」から各クラブ会長を中心に積極的に各種奉仕活動、会員の増強、新会員の更なる活躍などのクラブライフが期待されている。

銀座・日本橋グループには9クラブ、ロータリアン909名(2010年4月末現在、ガバナー月信2010年6月)であるが、この人数は6月末には変化していると思う。

辰野ガバナー年度を迎え、補佐として井原グループ幹事と共に銀座・日本橋グループ ロータリークラブのご協力により下記のように推進して参りたく、皆様の格別のご指導をお願い致します。

## 記

1. 「ガバナー公式訪問」を実り有るものにする為、事前にグループ幹事と共に各クラブを訪問し、クラブ協議会を開催してクラブの要望を伺った上ガバナーへ伝える。
2. 更にガバナーのクラブ訪問に先立って諸資料を纏め提供する。
3. 当グループのガバナー公式訪問日程は10月12日(火)からスタートして11月1日(月)まで延べ4回の開催を予定している。
4. RIの指導方針から検討中の「長期計画の立案」についてはグループ協議会で更に意見交換をした上推進したい。
5. 今後グループ協議会では長期計画の推進など各クラブからのご提案を出して頂きたく思います。

## 京浜グループ 活動通信

### 2010—11年度に向けて

京浜グループ ガバナー補佐 山本 松郎 (東京羽田RC)



今年度のガバナー補佐を務めさせていただきます 山本松郎 です。この一年間短い期間であります、グループの皆さま方が楽しいロータリーライフを満喫できますようお手伝いさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

今年度のRI会長のテーマは、「地域を育み 大陸をつなぐ」であります。日本語訳が会長の意図されるフィーリングと一致するものか否かわかりませんが、ここでは素直に日本語訳を了として進みましょう。

一見するとちょっとハードルが高い感じがしますが、親しみやすい「地域を育む・・・」から入りますと、わがRI第2750地区では、谷島年度に発足した「グループ フォー ワン」の制度があります。このところ若干沈滞気味ではありますが、巷の声としては、「同じ地区内なのに遠く離れたPBGと国内ロータリークラブ・ロータリアンがなんとか一緒に強い絆を築くべく努力をしてほしい」との願望が届いています。まったく同感であります。奉仕プロジェクトに発展できるよう、今年度の重点目標の一つとしてみんなで頑張りましょう。

わが京浜グループはPBGのうち、「RC of Truk Lagoon」が割り当てられています。

東京から行くには最も離れていますが機会があれば是非訪問されることをお勧めします。各クラブでは個々に海外クラブとの交流がなされています。しかし「グループ フォー ワン」の一環として、例えばガバナー公式訪問に随行して訪問することも意義あることでありましょう。

以上の外 リーダーシップ育成セミナーの開催を始めガバナー補佐に課せられた案件はまだまだ盛り沢山です。今月七月からは、ガバナー公式訪問に際して事前のガバナー補佐訪問もはじまります。辰野年度を楽しいロータリー年度とすべく努力致したいと思ひます。よろしくご協力のほどお願ひ申し上げます。

## 山の手東グループ 活動通信

### 感動の輪を拡げる

山の手東グループ ガバナー補佐 花岡 弘昌 (東京西南RC)



力不足のまま大役を拝命してしまいましたが、この上は裸の自分を率直にさらけ出してベストを尽くすしかない、と思っております。お恥ずかしながら私のここ20年来の人生モットーを申し上げますとそれは、仕事も遊びも「明るく、熱く、暖かく」であります。そしていつも感動(と感激)を求めています。

ロータリークラブに入会してからまだ20年で、知らないことばかりですが、ロータリーの諸活動、行事、お仲間からはこの“感動、感激”をいただく機会が多いので、まことに嬉しく、ありがたかく、生き甲斐を感じております。

特に今年に入ってからまことに多くの感動、感激の場に身を置くことが出来ました。5月末の新鮮な東京米山友愛RCの誕生祝賀(認証式)、その10日前に青山学院大学講堂で約700人が身の引き締まる思いで拝聴した“夜廻り先生”水谷修様の熱血講演、今月に入ってRYLA奨学生(ライラリアン)広瀬君と今枝君の若々しい社会人からの情熱いっぱい主張スピーチ、当東京西南RCが招いた国連高等難民弁務官事務所(UNHCR)からの元R財団留學生 中村 恵さんの卓話(かの緒方貞子さんとのインタビューと難民支援活動のDVDを含んでのご報告)、さらに本日、6月12日(土)、三鷹の国際基督教大学で行なわれたロータリー平和センターの年次セミナー「平和と紛争解決」では、R財団大学院生8人が2年間の世界レベルでの研究活動成果を発表しましたが、内容はかなり高度で、緊張、感動を超えた戦慄さえ覚えたり、感激のあまり涙を誘われたりしました。毎年この頃発表会がありますが、ロータリークラブの数多くの活動の中では世界的でもあり、最もハイレベルのものの一つかと思ひ、出来るだけ参加することとしています。

多くの感動、感激の機会に恵まれることが出来るのはロータリアンならではと考えられます。ロータリアンは常日頃、高潔な社会的責任感を抱いており、周囲に対する奉仕の心配りに努め、四つのテストでの自責の気持を忘れずにいるなど、自身、緊張と模索の状態にいるからこそ感動、感激する機会が多いのだらうと思ひます。但し、こうした感動、感激をしっかりと受け止めるには、自分自身が健康な心と体の持ち主でなければなりません。心身の好コンディションでこそ、感動、感激を生き生きと受け止めることが出来、これをより多くの仲間、より多くの人々に大きな輪として拡げていくことが出来るものと信じる次第です。

本年度いっぱい、当グループの幹事 加藤書久さんとともに頑張って行く決意ですので何かとご指導、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 山の手西グループ 活動通信

2010—11年度に向けて

山の手西グループ ガバナー補佐 小粥 定美 (東京成城新RC)



私共 山の手西グループは今年3月16日、国際ロータリーより加盟認証を頂いた東京米山友愛ロータリークラブを含め、11のクラブからなっております。

今年度私共は「クラブ中心」「合同プロジェクトの推進」という、辰野ガバナーの方針を受け、ロータリーの車の両輪といわれる親睦と奉仕に重点を置きクラブ活動を支援していきたいと思っております。

7月26日と新年度のスタート早々に開催予定のI.M.もこの両活動をコンセプトに実施の予定であります。ロータリアンになることにより得られる大きなものの1つに、素晴らしい友を得ると言う事があります。お互いに知り合い、相手を尊重し、人格を認める事により、協力して奉仕活動を行おうという事になると思っております。今年度当グループのI.M.は出来るだけ所属クラブの負担を少なく又その活動に影響を与えないようアフターファイブに実施し、講演会等ロータリー活動に直接関係ないものは取りやめました。異なるクラブの会員が同じテーブルに着席し、テーブル毎に与えられた、ロータリー活動にとって重要な6つのテーマに基づき、会食しながら討議をしてもらいます。テーマの選択も強制しないで自分達で関心のあるものを選び討議に加わって頂きます。新年度早々の実施で準備期間も少なく事務局は大変ですが、早めに実施する事によってグループ内の会員同士が親睦を深め合同プロジェクト等の奉仕活動に結び付けて頂ければと思っております。

又今年度ガバナーの強調事項である「長期計画の立案と推進」については、ロータリークラブは単年度主義であることを標榜してきた国際ロータリーの変化に戸惑いを感じるロータリークラブ(ロータリアン)がいることも又事実であります。効果的ロータリークラブを作るためには長期計画(中期的戦略計画と理解)が重要であることを理解して頂き、その推進を支援して頂きたいと思っております。今年度は各クラブが楽しく、意欲的にロータリー活動が出来るようお手伝いをさせて頂ければと思っております。

## 多摩南グループ 活動通信

2010—11年度に向けて

多摩南グループ ガバナー補佐 加藤 高白 (東京八王子北RC)



多摩南グループ2010年度ガバナー補佐を拝命いたしました。皆様のお役にたてるよう務めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私どものクラブは創立17年目を迎えますが、クラブとしてガバナー補佐を務めるのは初めてであり、戸惑いもありますが辰野ガバナーのもとグループの特長を生かした運営をしてみたいと存じます。

RI会長のテーマは「地域を育み、大陸をつなぐ」という壮大なテーマを掲げられました。これを受け辰野ガバナーは「クラブ中心、地区は支援」地区組織の簡素化を運営方針とし地区強調事項として (1)クラブにおける長期計画の立案と推進 (2)クラブ合同奉仕プロジェクトの支援を掲げられました。

特に長期計画では単年度制との整合性で各クラブの戸惑いは否めませんが、必ずや「長期計画」は、より良いクラブを築く礎になるものと確信をしております。

グループ内では、今年度は11クラブ中 5クラブが周年事業を控えており、企画や準備等で大変だと思っておりますが、クラブの名誉と誇りの為に成功裡に開催されますよう念願し、後方支援をしてみたいと思っております。

又、11月には「ロータリアンが主役の全員参加」をテーマにしたI.M.を開催する予定であります。各クラブより実行委員を選出していただきまさに全員参加型のI.M.にしたいと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。

辰野ガバナーをしっかりと支え、ガバナー補佐としての役目を果たすべく田中グループ幹事と手を携え務めて参りますので何卒ご支援、ご協力賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

## 多摩中グループ 活動通信

### 2010-11年度に向けて

多摩中グループ ガバナー補佐 信山 勝由 (東京小金井さくらRC)



2010-11年度 多摩中グループのガバナー補佐を務めることになりました信山勝由です。ガバナー補佐に与えられた任務は、地区の方針や情報をクラブの皆様にお伝えすること、多摩中グループの各クラブやメンバー相互の親睦を深め、それによりクラブの奉仕活動をより一層実りの多いものとする手助けをすることと考えております。

一年間という限られた期間でどの程度のものが出来るか分かりませんが、皆様のご協力を頂戴しながら活動していきたいと考えております。

辰野ガバナーは「クラブ中心、地区はクラブの支援」という大きな考え方のもと、2010-11年度の活動を進めてまいります。また地区強調事項として、初めて皆様に作成をお願いしておりますクラブ長期計画については、この作成を通じて、各クラブの目的・目標をクラブ内で共有することにより、クラブの活性化を目指したものであると理解をしております。

ロータリーの基本は、それぞれのクラブの活動の中にあると思います。ロータリアンは何よりもまず自分のクラブのメンバーですので、各自の所属クラブの活動に積極的に参加をしていただき、クラブの活性化に協力をしていただきたいと思います。

また多摩中グループは、多摩のほぼ中央部に位置し、都内への通勤者の多い住宅地が中心のエリアです。都内の地域と比較すると事業所数などがそれほど多くないので、各クラブとも会員の増強・維持には事のほか苦勞をしているのが現状です。

その様な中でも、多摩中グループの12クラブは、いずれも地域に密着をした奉仕活動を活発に行っており、またグループ内のクラブ間の繋がりが大変に密なことがこのグループの特色だろうと思います。このような多摩中グループの特色を生かし、グループ内での親睦を密にして、誰もが参加して楽しいと感じられる一年にしたいと思います。ぜひともご協力をいただきますようお願いいたします。

## 多摩東グループ 活動通信

### 2010-11年度に向けて

多摩東グループ ガバナー補佐 岩倉 哲二 (東京調布RC)



本年度の多摩東グループガバナー補佐をつとめます。よろしく申し上げます。グループ内には府中市、調布市、多摩市、狛江市、稲城市をエリアとする9クラブがあり、それぞれ地域、世界との交流を視野に入れて、活発な活動が継続的に展開されています。しかし、近年会員数の減少と構成員の高齢化が進行し、その傾向は現在でも続いているものと推測されます(1999年7月1日時点のグループ全体の合計会員数525名、2009年7月1日時点413名。2割強の減少)。

景況感も影響しているとは言え、今後、クラブ側にも、魅力のある、また高い倫理性を備えたクラブ造りに向けてより一層の努力が求められていると認識しています。

今年度の地区強調事項は二つあり、クラブ長期計画の立案・推進と「クラブ合同奉仕プロジェクト」の支援です。「対内的」なクラブ強化策として「クラブの長期計画の立案」が強調され、「対外的」なクラブ強化策として「クラブ合同プロジェクトの推進」が強調されているのだと理解をしております。

この「長期計画」はSTRATEGIC PLANを訳したのですが、ロータリーの使命、ビジョン、三大項目(クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上)とそれぞれの目標、中核となる価値観(奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ)などとワンセットで考えられています。今後、「長期計画」についての理解をさらに深めていきたいと思いますが、長期計画の作成の利点は、単年度制によるリーダーシップの発揮という長所を發揮しながら、年度をまたがるリーダーが協議を重ね、全会員の叡智を結集して活力のある多様性あるクラブ造りを行うことができる点にあると思います。

多摩東グループの事業としては6回のグループ協議会、会員増強セミナー、研修会、I.M.、親睦野球大会・同ゴルフ大会などを予定しており、更なるクラブ活性化にお役にたてるよう努力をしまいたいと思います。

皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

## PBG 活動通信

### 2010—11年度に向けて

PBG ガバナー補佐 Joe RIOS (Rotary club of Northern Guam)



大成功に終わったPETS会議。今年度もパシフィックベイシンググループと地区にとって素晴らしい年になるとの予感をさせてくれました。

辰野克彦ガバナー、直前ガバナー、谷島現地区研修リーダー、服部地区幹事、鈴木PBG地区副幹事の先導により、非常に建設的で有意義なものになったと思います。東京からの訪問団、次期会長と役員歓迎セレブションは過去と現在をつなぐ喜びに満ちた祝典となりました。前ガバナー補佐 Bill Hagen (92年、03年、08年)、Tim Kernaghan (98年)、George Benoit (04年)、前会長 Dave Silva (RC Guam)、Brian McDermott (RC Tumon Bay)、Amier Younis (RC Northern Guam)は任期中の経験を後継者に伝えました。

PETS 2010 オープニングスピーチにおいて辰野ガバナーは、リーダーの権限委譲の推進によるクラブ経営の効率化が地区を通じクラブの発展につながることを強調しました。また、ロータリー財団運営の強化の為に新会員獲得、維持が必要だとの見解を示しました。谷島バスターガバナーと服部地区幹事は、ロータリー財団の人道プログラム、教育における奨学金の目的について説明しました。今期の会長は研修によりクラブの財源を理解する事がいかに重要かということに触れ、またいくつかのクラブはロータリー財団への貢献に焦点を置いていました。

ポリオプラスプログラムビデオ「ファイナル・インチ」に触発され、ポリオ撲滅の為にイベントにおいてビデオプレゼンテーションも行われるようになりました。パシフィックベイシンググループはグアム、サイパン、パラオ、ボンベイ・チュークによる4つの地域から成り立っています。どのクラブも様々なプログラムを通じての地域支援に成功してきました。

ガバナー補佐として大切だと思うことは、PBGがこれらのプログラムを把握し、地区との連携に努めるということです。今期に置いては、ロータリー認知、財源の統合に留意していきたいと思えます。PBGのロータリアン、地区に於いてはロータリーの評判は良いですが、部外者にはロータリーの存在が見えません。空港でロータリーマークが見えるでしょうか？ PBGホテルチェックインの際、ロータリーのマークが見えるでしょうか？ 島の中をドライブすると高速道路沿いや、ロータリーが発展に尽力した公園に於いてロータリーの存在がわかる場所があるでしょうか？

各PBGのロータリアンはパシフィックの発展に協力してきました。これらのプロジェクトを認知することで、更なる発展とミッションの遂行が可能になると思えます。

新会長、役員が今期を迎えるにあたり、財源を把握するのは大きな課題と言え

ます。私の目標の一つは、地区内、特にPBGに於いて財源の橋渡しをすることです。クラブがまだ認識していない財源確保の方法がロータリーにはあります。

申請により、プロジェクトに地区補助金やマッチング補助金等の奨学金を受けられる事が出来ます。社会奉仕の発展の為に共同プロジェクトパートナーを設立する事が出来ます。私たちが持っている全ての能力、知識、スキル、財源を最大限に生かしPBGと地区にとって有益になるようにすることが出来るのです。

地区協議会では各PBGクラブが今期の目標、計画を発表しました。RC Guam会長のVictoria Borjaは現プロジェクト、ボンベイ、東京青山、マリーン、広尾の共同プロジェクトであるマイクロネシア連邦に於ける600の海水天日蒸留器計画について発表しました。

RC Saipan会長のMichael BrazelはKagman Community Parkの発展について発表、Kagman村の子供達用遊具、スケートボード施設の設置等の内容に言及しました。

RC Tumon Bay会長のMary Torreはグアム大学に学ぶ学生に1万ドルのPBGフレンドシップ奨学金を授与する計画を発表、サイパン、パラオ、ボンベイ・チュークロータリークラブは候補者を選出し、グアムロータリークラブが奨学生を決定します。

Craig Wade会長はNorthern Guam RC資金調達の一環として、オークションを復活させると発表。地区内のロータリークラブから様々な品物を購入しオークションに出品するとしています。オークション収益金はグアム大学とグアムコミュニティカレッジの奨学金の資金となります。

RC Pohnpei会長のJohn SchroerはKosrae島の住民に医療設備、医療施設設置支援を行う計画、「Kosrae Medical Mission」を発表、シスタークラブであるカリフォルニアRC Salinasと共に、6万ドルの資金調達を目標としています。RC Palau会長のRichard ZieglerはBalau National病院へ提供されるスリーパーチェアについて発表、スリーパーチェア購入に必要な1万7,500ドルの半分の資金を既に調達しています。

RC Guam Sunrise会長Bobbie Leon Guerreroは「Sea Haven Project」について発表、マイクロネシア連邦に於いての人道的努力の継続に努めます。RC Turk Lagoon in Chuuk第二期会長のClark Grahamはバイオ燃料プロジェクト、200の自転車プロジェクト、美しいチュークを保つ為の継続的な努力について発表しました。

今期は大変素晴らしいプロジェクトに恵まれています。財源の確保にはみな悩まされる場所ですが、各地区ロータリアンの努力、超私の奉仕により目標は必ず達成出来ます。ガバナーの辰野氏が言ったように、「地域を育み、大陸と島をつなぐ」ことにより成功を取ることが出来るのです。

## 広報委員会 活動通信

### 2010—11年度に向けて

広報委員会 委員長 水野 雅生 (銀座新RC)



ロータリーにおける広報の重要性はロータリー活動を外部に向けての広報をして頂くことにあります。今ではRIの長期計画にも盛り込まれるようになりました。広報こそが成功のカギであると、シニア・リーダーが認識するようになったのです。ロータリアンは、ロータリー発展と奉仕活動を改善、拡張するために、ロータリーが何をしているのかについて、自ら他の人々に知らせ、地域社会におけるクラブの存在を一層際立たせる力となるように要請されています。

その広報委員会設立の必要性の背景としては、ロータリークラブ会員の減少傾向にあること、ロータリークラブの中には地域社会との遊離しているクラブがあること、また地域社会への奉仕活動の欠如しているクラブがあることから、RIが広報委員会を重要視され、五大常設委員会に入れるようになりました。

いずれのロータリークラブも毎年主要な社会奉仕活動の一つを提唱することを望まれています。成功したプロジェクトは、ロータリーに対する一般の人々の認識、理解を普及徹底させるのに非常に効果的な方法の一つと考えられています。従って、見事に遂行されたプロジェクトについて一般の人々に広く知らせる活動は、ロータリー広報にとって不可欠であります。

現在まで行われている地区広報のプロジェクトは、今年で4回目の「東京マラソン」における一般市民ランナーに対する給水活動で協力をしてきています。

ホームページの立ち上げ、すでに多くのロータリークラブは「ホームページを作られています、まだのクラブは作成することをお勧めいたします。

今年の広報委員会は環境問題をテーマに取り組みたいと考えています。

## 会員委員会 活動通信

2010—11年度に向けて

会員委員会 委員長 新藤 信之（東京立川こぶしRC）



今年度地区会員委員会の構成は、会員開発委員会、ロータリー情報委員会、ロータリー親睦活動委員会の3委員会です。会員委員会は英語で「Membership Committees」です。「Membership」という意味を、私は「ロータリアンとしての会員(相互)の質(を向上させること)」と理解します。つまり、会員自らが職業奉仕の理念を理解し、会員相互のロータリアンとしての資質を高め合うこと、加えて、奉仕の機会としての知り合いを広めることを目的としている委員会と考えます。このことを前提に「会員の勧誘と退会防止に関する包括的な計画を立て、実施する」委員会と理解します。こう考えますと、「アイデアの交換」のための例会出席が基本であり、「会員開発」の主体は会員相互であり、「ロータリー情報」は単にロータリー知識の伝達ではなく、自主的に情報を獲得し、それをお互いの活動に生かすことであり、「親睦」は単に会員同士が仲良くなることではないことが理解できます。

**＜会員開発委員会＞** 会員増強・維持・拡大は、単に、会員の数を増やし、退会を防止し、クラブを増やすことではなく、継続的に、質の高い多様な人材を求め、育てることです。会員の減少傾向に歯止めを掛けるために、7月、1月にグループ毎の委員長会議を開催し、きめ細かく個々のクラブの会員状況を把握し、クラブ会員基盤の維持・拡大を支援します。

**＜ロータリー情報委員会＞** 効果的なクラブ運営のために、先般、規定審議会で採択された立法案をクラブへ紹介すると共に、次の規定審議会に向けて、クラブからの立法案提出のための作成作業を支援します。

また、新たに打ち出された「RI長期計画」等、最新の情報をクラブに提供し、将来のクラブ/地区、ロータリーのあるべき姿を共に探求します。

**＜ロータリー親睦活動委員会＞** 「クラブを超えた親睦」を共有するキーワードとして、①クラブ間親睦活動の支援、②卓話者リストの作成、③交換メーキャップ・合同例会の推進、④趣味の会員交流会の支援、を積極的に行ってまいります。

## 奉仕プログラム委員会 活動通信

2010—11年度に向けて

奉仕プログラム委員会 委員長 熊野 隆喜（東京城西RC）



2010—11年度がいよいよスタートしました。私は地区奉仕プログラム委員会の委員長という大役を仰せつかりましたが、皆様には何かにつけてお世話になることと存じます。よろしくお願いいたします。

辰野ガバナーは今年度の地区方針として

①クラブ中心、地区はクラブの支援 ②地区組織の簡素化を打ち出されました。

その方針にそって 奉仕プログラム委員会は屋上屋の組織を避け、奉仕プログラム委員会のもとに8委員会が直結するようにしました。

8委員会はインターンシップ委員会・環境保全委員会・世界社会奉仕委員会・国際友愛委員会・インターアクト委員会・ローターアクト委員会・RYLA委員会・青少年交換委員会 です。

私も全ての委員会に精通してはおりませんので、各委員会の皆さんには自主自立で活動してもらい、私は出来るだけの支援をしていくつもりです。

国際ロータリーは従来の四大奉仕から『新世代奉仕』を加えた五大奉仕に変更し、新世代の育成に力を入れていくように方針を定めました。したがって、新世代の4委員会活動は勿論のこと、インターンシップや課外授業の推奨も大きな意味を持ててきます。新世代奉仕ではロータリーファミリー全体を視野に入れ、各委員会が個別の活動ではなく総合的な人材・指導者育成の流れが出来るように考えていくことが求められてきます。

当地区はパイロット地区指定から外れたとはいえ『未来の夢計画』に向けた国際奉仕活動のあり方も探っていかなければなりません。クラブの皆さんは国際奉仕(パシフィック・ベイスンを含む)の楽しさ、充実感を知ってください。

地区の委員会の皆さんには委員会活動を楽しんでください。ロータリーの理念にふれながらいろいろな人と知り合えることは素晴らしいことです。皆様 一年間よろしくお願いいたします。

## ロータリー財団委員会 活動通信

2010—11年度に向けて

ロータリー財団委員会 委員長 福井 衛 (東京武蔵府中RC)



ロータリー財団プログラムへの「参加」と「寄付(資金調達)」は、ロータリー財団が有効に機能していくための車輪の両輪です。まず初めにプログラムありきです。財団プログラムを実施するための資金は世界中のロータリアンから寄せられる寄付が基になっています。クラブは地区補助金(DSG)やマッチング・グラント(MG)を利用するプロジェクトを積極的に立ち上げることによって、クラブ会員の皆様の寄付金額以上の財団資金を自クラブに還元することが可能になります。また、国際親善奨学生や研究グループ交換(GSE)の候補者を推薦することによっても財団資金を利用することができますし、彼等との友好関係を深めれば、将来の有望なロータリアンを育てることにもなるのです。どうかクラブの皆様には寄付をするだけでなく、寄付すなわち財団資金を有効に利用することも考えてください。

本年度の活動目標・基本方針はPETS、地区協議会R財団分科会、地区R財団セミナー等をお願いさせて頂いておりますが、特に次の4項目を重点目標としています。

- ① DSGとMGについてはクラブ合同奉仕プロジェクトの推進。
- ② 米国シカゴ地区と実施するGSEの派遣ならびに受入体制の確立。
- ③ ゲイツ財団ポリオ撲滅チャレンジ寄付の目標達成。
- ④ 2013—14年度から始まる「未来の夢計画」に基づく新補助金システムに向けた諸準備。

このうち特に④について、クラブの奉仕プロジェクトに財団資金を上手に活用するためには、新システムを十分に理解することが必要になりますので、クラブに対するアンケートの実施、未来の夢計画に特化した研修セミナーの開催等、あらゆる手段を講じて情報の伝達に努める所存です。地区委員会では皆様に愛されるロータリー財団を目指して活動してまいりますので、何卒、ロータリー財団に変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 米山記念奨学委員会 活動通信

2010—11年度に向けて

米山記念奨学委員会 委員長 杉本 當正 (東京八王子RC)



よねやま ○×クイズ

- Q1. 米山記念奨学会は、米山梅吉翁が海外の青年を支援するために設立した。
- Q2. 米山記念事業は、国際ロータリーが定める正式な活動である。
- Q3. 特別寄付は、一口10万円以上である。
- Q4. 特別寄付金で所得税や法人税が軽減される。
- Q5. 米山奨学生を引き受けるには、ホームステイが必要である。

のっけからクイズとは、失礼かも知じませんが、少しでも米山記念奨学事業のことをご理解頂きたいとの思いから、このようなことをさせていただきました。

Q1の答えは、×です。米山梅吉翁の遺徳を忍び始まったもので、ロータリアンを中心とする、みなさんの寄付によって成り立っています。

Q2米山記念事業は、国際ロータリーが定める正式な活動で、世界に誇れる、わが国独自の事業です。もちろん、答えは○です。

Q3ロータリアンなどが拠出する特別寄付は、1円以上いくらでもかまいません。従って、答えは、×です。

Q4の答えは、○です。ロータリー米山記念奨学会は「特別公益増進法人」になっていますから、所得税や法人税の優遇措置が受けられます。

Q5ホームステイの必要はありません。従って答えは×になります。但し世話クラブではカウンセラーを決めてください。

## クラブ紹介

### 東京南ロータリークラブ

2010-11年度 会長 新井 欣弥

今年度、東京南ロータリークラブは創立60周年を迎えます。今年度は「伝統を育み、奉仕と親睦の心を広げよう」をクラブテーマとし一年間活動してまいります。まず、ロータリーの活動の要である例会では、各方面でご活躍している方々をお招きし、卓話の充実を図るとともに、東京會館の食事を楽しんでいただけるよう配慮してまいります。

奉仕活動では、ディスレクシア(読み書き困難)の正しい認識の普及と支援を目的としたNPO法人EDGEと毎年20～30名の農村指導者をアジア・アフリカの農村地域から招き、農村リーダー養成の研修を行っている学校法人アジア学院の2団体へ継続的支援活動を行っており、今年度も引き続き支援してまいります。



### 東京銀座ロータリークラブ

2010-11年度 会長 塚本 清士郎

東京銀座ロータリークラブは、1958年5月17日に創立されました。創立以来のモットーは「和やかで楽しく格調高い」クラブで、創立時会員数は22名、現在の会員数は男性156名、女性5名の161名です。

例会場は「新橋クラブ」から「銀座東急ホテル」へ、そして現在は「コートヤード・マリオット銀座東武ホテル」で、例会日は当初「土曜日」でしたが、諸般の事情により「水曜日」に変更になり現在に至っています。

当クラブは、2008年6月10日に創立50周年を迎え、東京會館に於いて記念式典並びに祝賀晩餐会を開催致しました。この50年の間に当クラブよりRI第2750地区(旧275地区)のガバナーに安田幾久男さん、服部禮次郎さん、丸山 宏さん、市川伊三夫さんと4人の方が出ています。

地元銀座に密着した活動を通し地域社会に奉仕するとともに、「土曜会」という会員の御夫人の会があり、おむつを縫うなどの奉仕活動を積極的に推進しています。



### 東京芝ロータリークラブ

2010-11年度 会長 河野 雅聰



当東京芝ロータリー・クラブは、今年4月に創立42周年を迎えました。例会場は芝増上寺横の緑の木々に囲まれた東京プリンスホテルで毎水曜日12時半より13時半に例会を行っております。

会員構成は男性会員96名で、老、壮、青の会員がバランス良く活動しています。

クラブ運営に当たっては、ロータリーの綱領を理念として「奉仕なくして親睦なし」「親睦なくして奉仕なし」をモットーとし、本年度クラブテーマとしては「親睦を更に深め、奉仕に目を向け実践しよう」としました。

奉仕については、①地域の青少年育成に寄与しよう。②環境テーマに取り組む。③人道支援に取り組む、を三本柱として積極的な活動計画を立てました。

会員は例会出席100%目標にクラブライフを楽しみ、奉仕、親睦活動に力を入れています。

### 東京日本橋ロータリークラブ

2010-11年度 幹事 伊賀 可次

東海道53次の起点としての日本橋の名前通り、会員メンバーには家業、数百年という老舗の旦那衆が多いのが一番の特徴と言えます。それだけではなく、上場事業会社、銀行、証券の社長というように財界の重鎮が重きを成しています。会員の層の厚さは、オペラ界、歌舞伎界、常磐津と広がりを見せ、著名な弁護士、公認会計士、医師、歯科医師という専門職の人材も多数おります。正に多士済々の顔ぶれであり、人材の宝庫と言っても過言ではありません。

例年の活動として、『日本橋』橋洗い、「日本橋川浄化作戦」、「浜町公園ふれあい花壇作り」等の地域密着型の社会奉仕活動を行っています。今年度は『日本橋』架橋100周年の年となりますので、日本橋船着場整備事業への参加を予定しています。また国際奉仕事業は、認定NPO法人「難民を助ける会」を通じてザンビア、スーダンなどへマラリア予防のための蚊帳の購入資金の寄付を10年にわたって継続しています。



また日頃の親睦活動では同好会活動を奨励しています。ゴルフ、野球、歌舞伎観劇、コーラス、陶芸、小唄、カラオケ、ハワイアンそしてトレッキングと広範囲にわたる同好会活動は、会員同士の親睦と友好に大変役に立っています。

このように潜在能力の高い我がクラブの今年度の目標は、「奉仕を原点に帰って考えよう」そして「一緒に汗を流そう」です。どれだけ具体的な成果を挙げられるかが今年の課題です。

## クラブ紹介

### 東京羽田ロータリークラブ

2010-11年度 会長 太田 博隆

当クラブは1959年1月7日、東京西ロータリークラブがスポンサーとなり東京で10番目のクラブとして誕生しました。RI国際大会が日本で初めて開かれるにあたり、羽田空港で海外からのロータリアンのお出迎えと帰国のお世話をすることが設立の大きな要因であったと記録されています。以来 市村茂人、谷島 昶両ガバナーを輩出しました。

当クラブの大きな特色の1つは、空港を地域に抱える全国空港RCフォーラムに参加している事です。尚、創立50周年記念に会員の総意で決めたテーマ「親睦と奉仕のハブを目指して」～空港と地域との共生のかけ橋に～を継承し、青少年育成支援、中学・高校の教科サポート、福祉活動、環境・水問題に関わる海外の植林事業支援を実施しています。

現在会員44名、ロケーションの良い羽田空港ターミナル6階ギャラクシーホールで例会を開催しています。



### 東京西ロータリークラブ

2010-11年度 会長 宇野澤 虎雄

東京西RCは1955年6月23日東京南RCをスポンサーとして誕生しました。その後8つの子クラブを誕生させ、孫クラブ、曾孫クラブを含めると実に34のクラブと血縁関係を持つ地域の代表的なロータリークラブに成長しました。

2001年度にはカンボジアに小学校を建設し、現在も継続して支援を続けております。2010年6月には、創立55周年を無事迎える事が出来ました。



カンボジア小学校

そして、当クラブから5人目となりますが、辰野克彦会員が2010-11年度第2750地区ガバナーに就任しました。



例会風景

格式ある日本のTOPホテル、ホテルオークラ東京にて例会を開催する唯一のクラブとして、素晴らしい親睦の和と積極的な奉仕活動を展開し続けております。

### 東京大森ロータリークラブ

2010-11年度 会長 森田 光一

2000年にカトマンズ郊外のジャルワラシ村に2教室と1教員室の小学校を建設し、増築を重ねる中で家畜からの被害を防ぐ為、フェンスを作り花と果実を愛でられる植樹を行い、当クラブが創立45周年を迎えた今日までの間に、図書室を含めた総2階建てが出来上がり会員の特別な思いの表れとして造られたSAKURAI-HALLは村の公民館としても活用され、又木々は立派に生長し季節毎の花々は子供達の情操教育に役立っています。今ではネパール国内のモデル校として評価され、JACA海外青年協力隊も常駐するようになりました。地域では開桜小学校での課外授業は、YECの「小さな親善大使」の一助にもなり、ネパールの子供達との絵手紙による国際交流も行われるようになり、正に「地域を育み大陸をつなぐ」

活動を行ってききました。地味で目立たない活動ですが、地に足をつけた活動を行っているそんなクラブが東京大森ロータリークラブです。



### 東京城西ロータリークラブ

2010-11年度 会長 小暮 元一郎

当クラブは1963年、東京西RCをスポンサークラブとして創立。東京クラブのひ孫にあたり、今年で47年を迎えました。

ガバナーを二人輩出しており、学識経験者も多く、人材に恵まれ、品格の高いクラブです。

又、35才から95才迄の幅広い年代の会員が協力し合いよく融け合っています。特にここ数年は会歴の新しい会員が積極的に活動しており、活気に満ちています。



杉並区を対象とした社会奉仕や次代を担う新世代の資質向上の為の取組みも盛んです。

又、カンボジアの井戸掘りへの支援も昨年度から始まりました。

3年後には創立50周年を迎えます。その記念事業の準備に入りました。50年という長きにわたり、会員の皆さんが様々な奉仕活動に尽力してくれたことに感謝し、称え、お祝し、新たなスタートを切る予定です。

## クラブ紹介

### 東京世田谷ロータリークラブ

2010-11年度 会長 高橋 茂樹

会員が心も行動も一つになれるようにとの思いで、創立48周年目のテーマを「Hand in Hand, Heart to Heart」といたしました。近年、私たちのクラブはたくさんの新入会員を迎えることができ、入会2年目以内の会員が全体の3分の1を占めています。伝統のあるクラブではありませんが、現在、一つの過渡期を迎えているところです。

そこで、全会員が何らかの形で親睦活動や奉仕活動に参加することを基本に据え、クラブの一体化を図るとともに、活気ある、参加したくなるクラブ作りをしていきたいと考えます。すでに親睦活動は元より、国際奉仕や社会奉仕活動もテーマに沿った活動の実現に向けて準備が進められています。更に、海外の姉妹クラブや地区内の他のクラブとも積極的に交流を進めていき、良いところを吸収していきたいと思っております。

尚、本年度ガバナーの奨励されている「合同プロジェクト」も提案をさせていただいています。何卒、よろしくお願い申し上げます。



### 東京目黒ロータリークラブ

2010-11年度 会長 末松 尚武

東京目黒RCは昭和42年8月創立、43年を経る地区内でも歴史あるクラブです。

現在会員は45名とピーク時88名を擁していた時期より会員の高齢化、減少傾向が続いています。ですがクラブ会員全員参加で地域に、世界に、新世代にと奉仕活動を継続しています。

特筆すべき奉仕に地域清掃奉仕活動があります。2000年から東京目黒RCが中目黒公園建設に関わり、公園完成時に公衆トイレ2基を寄贈し、これを契機に2007年に第1回の『We Love 目黒』プロジェクトを実施し、今年度も第5回の『We Love MEGURO 2011』を予定しています。参加者も1,000名を超えるこのプロジェクトは近隣友好クラブ、地域行政、地域各種団体、新世代育成団体等に大きなインパクトを与え、ロータリーの広報に役立っています。

今後とも活動を継続し、クラブ会員の増強に資すると共に奉仕の仲間を増やそうと努力しています。



### 東京八王子ロータリークラブ

2010-11年度 広報リーダー 大蔵 健司

東京八王子ロータリークラブは東京北ロータリークラブをスポンサーに昭和34年5月8日に創立された本年で52年の歴史と伝統があるクラブです。また子クラブは東京日野、東京八王子西、東京八王子東、東京立川、東京青梅の5クラブです。現在の会員数は62名平均年齢は66.83歳です。例会は毎週木曜日京王プラザホテル八王子で行われており平均出席率が91.65%と高いことも特徴です。



本年度の平道明会長のクラブテーマは「ロータリーの心を地域の人々に」です。前年度に開始した、市内・大学との連携による「理科教育環境整備事業」を引き継ぎ本年度も地域社会への奉仕稼働を実施いたします。また市内の行事である「いちょう祭り」ではロータリー活動のPR事業を行う予定です。現在のクラブバナーは一昨年の50周年を記念して市内の東京造形大学に産学共同事業の受託研究契約により学生のデザインコンペを行いクラブ全員の公正な投票により選ばれた物です。デザインは未来に向けて飛躍するこイメーじのもと八王子の市の鳥であるオオルリが空へ羽ばたく姿と八王子の緑そして甲州街道のいちょう並木に青空をデザインした物です。

### 東京町田ロータリークラブ

2010-11年度 会長 井上 勉

1962年に創立された東京町田ロータリー・クラブは、来年度50周年という大きな節目を迎えます。多くのロータリアンがご来賓頂く中、しっかりした事業計画、楽しい記念例会を執り行う為にも今年度より実行委員会を立ち上げてまいります。増強あるクラブは活気があります。当クラブでも10%増を目標に力を注ぎ努力したい。



東京町田ロータリー・クラブの特徴の一つでもある「幼児画展」があります。姉妹クラブでもある台中区ロータリー・クラブと共催で台湾児童の作品と、町田市内の幼児の作品を同時展を行っています。1,800点の作品を一同に展示する様は、まさに壮観です。

又今年度の当クラブのテーマは「お陰様」としました。社会変動により人の心も変わってきましたが、人との繋がりを大切に「お陰様」で楽しい例会でした、「お陰様」で良い卓話でした。そんな一年にしたいと思います。

## クラブ紹介

### 東京立川ロータリークラブ

2010-11年度 クラブ会報・広報委員会 津田 宣秋

東京立川RCは、1960年に国内388番目のクラブとして創立認証され、前年度創立50周年を迎え本年3月26日には「明日に架ける橋」～緑は地球を救う～環境をテーマに盛大に式典が行われました。

また前年度は、13名の拡大により現在100名の会員が所属しています。市内は、国営昭和記念公園や多摩川、玉川上水に囲まれた緑と水の豊かな地域でもあります。私たちは、大切な地球のこと(環境)を考え、51周年を迎える本年度は、豊泉幸夫会長・磯部弘志幹事のもと「ロータリーの心を育み、次なる100周年へつなごう」をクラブテーマに、ベテラン、中堅若手が一体となって活動して参ります。

例会は毎週金曜日12:30～13:30パレスホテル立川で開催しています。



### 東京小金井ロータリークラブ

2010-11年度 広報委員長 田中 靖

東京小金井RCでは過去に色々な奉仕活動を行っていますが、近年で一番大きな事業は、創立40周年の記念事業として行った、ベトナム、カオバン省における、小学校校舎の建設です。カオバン省はベトナム最北端の山岳地帯に位置しており、少数民族の多い未発展の地です。会員の一人がこの地の有力者と旧知の仲であった事により、事業は始まりました。視察、打ち合わせと幾度となく現地を訪れて足掛け2年、2003年9月に無事開校。それまでは教室が足りない為、一日三部制であったカリキュラムが改善され、教育内容が資、量共に向上し、就学年齢の子供を100%受け入れる事が可能となりました。現在も国際奉仕の継続事業として、毎年、現地で調達したノートや鉛筆などの教材を送り続けております。

今年度、クラブとしては創立50周年に向け新たな事業を検討中です。秋には本格的にスタート出来るものと、会員一同、さらに燃えています。



正面奥が当クラブ寄贈の校舎

### 東京府中ロータリークラブ

2010-11年度 会長 松村 一夫

#### — 継続は力なり —

当クラブは今年度創立49年目を迎えます。創立当初より新世代育成に力点を置き、早々に明星学苑インターアクト・クラブ、東京府中ローターアクト・クラブを提唱しました。

主要事業の一つである作文コンクールは36年間継続中ですが、市内の小・中学生からの応募数は1万点を超えるほどになりました。また、創立20周年には「公益信託東京府中ロータリー・クラブ教育振興基金」を設立、28年間市内小・中学校の功績のあった先生方を顕彰してまいりましたが、民間が公立の先生を表彰するという全国でも珍しい事業として高い評価をいただいております。創立40周年では、カンボジアで小学校を建設・寄贈し、以後絵本やCDを贈るなどの活動を続けています。

継続事業の多い当クラブですが、最長の事業は創立以来発行している「ロータリーニュース」です。ロータリーやクラブの活動を理解していただくためのタブロイド版の広報紙で、毎年度末に主要新聞に折り込み約7万世帯へ配布しています。2002年には地区内初のRI広報賞を頂戴しました。



### 東京調布ロータリークラブ

2010-11年度 会長 加賀美 陽三郎

2010-11年度クラブテーマ：仁と義の心で

#### 1. クラブ経歴

創立 昭和38年7月12日(1963年)

創立メンバー 26名

創立順位 568位

承認 昭和38年8月19日

創立時ガバナー 永沼政久

チャーター伝達式 昭和39年4月28日  
(調布市公民館にて)

スポンサークラブ 東京府中ロータリー・クラブ

特別代表 池田 義政

拡大補助者 駒井 昇



#### 2. 区域

区域：東京都調布市

#### 3. 事務局

事務局：東京都調布市小島町1-12-7 小笠原ビル3F  
TEL：042-481-2525 FAX：042-489-2525

#### 4. 例会場

例会場：調布クレストンホテル TEL：(0424)89-5000  
調布市小島町1-38-1 調布駅前・北口・調布  
パルコ8F

#### 5. 例会日

例会日：毎週月曜日 12:30～13:30

理事会：毎月第1例会日 11:00～12:00

## 米山功労者ご紹介

ご協力感谢您いたします

三浦 仁君	東京銀座	2010.4.8	4
本橋 浩一君	東京中央	2010.4.13	10
則定 衛君	東京日本橋	2010.4.14	6
湖山 泰成君	東京銀座新	2010.4.15	6
牛田 英郎君	東京シティ日本橋	2010.4.19	4
河村 美徳君	東京恵比寿	2010.4.22	1
古屋 文男君	東京杉並	2010.4.27	25
久邇 邦昭君	東京南	2010.4.30	4
志野与志野君	東京飛火野	2010.4.30	1
伊藤 英也君	東京多摩グリーン	2010.4.30	3

## ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチブル      ご協力感谢您いたします

◎ 西山真理子君	東京青山	2010.5.21
◎ 山下 正昭君	東京八王子南	2010.5.21
関 和之君	東京八王子西	2010.5.28
木口弥太郎君	東京国分寺	2010.5.28

## 新ベネファクターご紹介

ご協力感谢您いたします

田中 昇君	東京国分寺	2010.5.21
丸山 邦治君	東京銀座新	2010.5.28

## 2011年 RI 国際大会 開催日程

2010-11年度(辰野年度)の国際大会は  
2011年5月22日から25日まで  
ニューオリンズで開催されます。



## 文庫通信 (273号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。  
以下資料のご紹介を致します。

### 新世代のためのプログラム

#### ◎「最近の若者の心の叫び」

杉田峰康 2010 7p  
(第38回ロータリー研究会報告書)

#### ◎「青少年交換・ローテックスおよび IACの現状と問題点」

関場慶博 2010 4p  
(第38回ロータリー研究会報告書)

#### ◎「日本の RACと RYLAを含めての 青少年奉仕活動」

海沼美智子 2010 6p  
(第38回ロータリー研究会報告書)

#### ◎「青少年の健全な育成と指導に何が必要か」

梨田昌孝 2009 4p (D.2660地区大会記録)

#### ◎「ライラに参加して」

D.2840 [2009] 3p (第8回ライラ研修報告書)

#### ◎「RYLAの皆さんに期待する ロータリアンの気持ち」

深川純一 D.2670・D.2680 [2009] 5p  
(第31回青少年指導者育成セミナー報告書)

#### ◎「人生 — いかによりよく生きるか」

阿部志郎 D.2670・D.2680 [2009] 12p  
(第31回青少年指導者育成セミナー報告書)

#### ◎「『少年少女ニコニコキャンプ』開催要領」

D.2660 [2009] 2p  
(2008 少年少女ニコニコキャンプ報告書)

上記申込先：ロータリー文庫

(コピー/PDF)



〒105-0011  
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
http://www.rotary-bunko.gr.jp  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (5月分)★  
District 2750 Membership Attendance Report May 2010

区分	クラブ名	例会	出席率	会員数			区分	クラブ名	例会	出席率	会員数		
				09年7月1日	10年5月末	増減					09年7月1日	10年5月末	増減
千代田グループ	東京南	4	77.01	173	177	4	東京八王子	4	91.72	60	63	3	
	東京芝	3	93.53	89	96	7	東京町田	3	69.39	55	55	0	
	東京新橋	3	79.66	54	54	0	東京日野	3	75.49	41	40	-1	
	東京赤坂	4	76.00	47	47	0	東京八王子西	4	90.59	69	73	4	
	東京みなと	3	85.90	50	52	2	東京町田・中	3	84.94	38	38	0	
	東京レインボー	3	80.70	41	42	1	東京八王子東	3	82.71	28	27	-1	
銀座・日本橋グループ	東京麻布	3	71.70	21	23	2	東京八王子南	3	90.38	56	54	-2	
	東京銀座	3	77.27	159	158	-1	東京町田サルビア	3	86.40	25	22	-3	
	東京日本橋	3	80.95	176	184	8	東京飛火野	3	66.66	30	31	1	
	東京築地	4	85.61	62	68	6	東京町田東	3	78.57	29	29	0	
	東京日本橋東	3	76.32	54	52	-2	東京八王子北	3	81.72	31	32	1	
	東京中央	3	79.74	230	245	15	東京立川	3	95.23	89	99	10	
京浜グループ	東京日本橋西	3	83.33	48	46	-2	東京小金井	3	93.00	31	29	-2	
	東京銀座新	3	78.34	74	73	-1	東京国分寺	3	95.91	50	48	-2	
	東京シティ日本橋	4	76.96	49	50	1	東京三鷹	3	88.90	42	43	1	
	東京中央新	4	68.80	37	39	2	東京昭島	3	77.83	48	53	5	
	東京羽田	3	83.26	44	44	0	東京国立	3	97.30	51	54	3	
	東京大森	4	95.83	53	51	-2	東京立川こぶし	2	89.37	81	81	0	
山の手東グループ	東京品川中央	2	91.00	56	57	1	東京井の頭	3	86.20	25	28	3	
	東京田園調布	4	83.56	49	47	-2	東京昭島中央	3	70.00	39	43	4	
	東京蒲田	4	96.23	59	62	3	東京武蔵国分寺	4	75.50	52	49	-3	
	東京田園調布緑	2	78.00	23	25	2	東京小金井さくら	3	72.73	21	22	1	
	東京品川	4	84.92	66	67	1	東京国立うめ	4	76.38	21	20	-1	
	東京大井	3	78.33	19	20	1	東京府中	3	77.00	64	63	-1	
山の手西グループ	東京港南	3	64.81	19	20	1	東京調布	4	85.04	64	62	-2	
	東京大崎	4	91.03	36	39	3	東京多摩	3	79.17	23	24	1	
	東京京浜	2	83.33	23	23	0	東京狛江	4	87.11	32	30	-2	
	東京マリン	3	75.00	20	20	0	東京稲城	3	69.22	32	33	1	
	東京白金	4	80.00	31	30	-1	東京武蔵府中	3	77.94	55	58	3	
	東京高輪	1	85.00	29	29	0	東京たまがわ	3	80.77	25	26	1	
山の手東グループ	東京西	4	84.35	151	154	3	東京多摩グリーン	3	78.28	36	37	1	
	東京城南	3	79.79	76	78	2	東京調布むらさき	4	82.23	82	83	1	
	東京西南	3	82.46	55	53	-2	Guam		—	76	70	-6	
	東京原宿	3	83.64	29	29	0	Saipan	4	63.75	44	41	-3	
	東京杉並	4	73.38	40	41	1	Tumon Bay	4	40.72	94	91	-3	
	東京神宮	3	78.13	35	32	-3	Northern Guam		—	35	35	0	
山の手西グループ	東京恵比寿	3	74.90	94	99	5	Pohnpei	4	50.00	20	21	1	
	東京広尾	4	76.09	24	23	-1	Palau	4	75.00	15	16	1	
	東京渋谷	4	79.17	39	40	1	Guam-Sunrise	4	52.00	31	32	1	
	東京六本木	4	75.00	52	51	-1	Truk Lagoon		—	12	13	1	
	東京世田谷	2	89.28	61	60	-1	国内83クラブ計			4,351	4,456	105	
	東京目黒	3	83.73	49	45	-4	地区91クラブ計			4,678	4,775	97	
山の手西グループ	東京成城	3	87.10	24	24	0	千代田グループ	80.64	多摩南グループ	81.69			
	東京世田谷南	3	83.00	94	90	-4	銀座・日本橋グループ	78.59	多摩中グループ	84.86			
	東京城南	2	65.00	27	34	7	京浜グループ	83.59	多摩東グループ	79.64			
	東京山の手	4	80.77	67	67	0	山の手東グループ	78.69	PBグループ	—			
	東京成城新	3	76.54	38	35	-3	山の手西グループ	80.12	平均出席率	81.25			
	東京青山	2	72.10	33	34	1			(PBGを除く)				
東京自由が丘	3	86.86	18	21	3								
東京世田谷中央	4	73.08	29	28	-1								
東京米山友愛	3	83.91	—	29	29								

編集後記

辰野年度のガバナー月信は、昨年までの基本型を踏襲し、編集に当たってまいります。

ガバナー月信は、昨年同様の形式で地区の全会員にお届けします。辰野ガバナーからのメッセージをぜひ読んでいただきたいと思います。

地区ホームページ(HP)は、かなり変更いたしました。より読み易くを念頭に、ガバナー月信、地区活動など

豊富な情報を一環して読めるようにしました。また「クラブ紹介」の新設、PBG会員向けの翻訳部分の増ページを採用いたしました。現在は、地区概要の英語版を作成中です。

これから1年間、委員会一同頑張りますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

2010-11年度ガバナー月信・IT委員会 委員長 堀口 昇治 (東京西RC)

国際ロータリー第2750地区 2010-11年 ガバナー 辰野 克彦

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2010-11 Governor Katsuhiko Tatsuno

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 辰野 克彦(2010-11) ©Katsuhiko Tatsuno 2010

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 堀口 昇治 副委員長 山見 真弘 副委員長 木村 清信

副委員長(年次報告書担当) 竹平 時彦 Andrew WONG 島村 博之 望月 耕次 松田 美房 石黒 重徳 森本 行俊 清野 修一

浅見 省三 河村 勝久 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>